

エイジフレンドリー補助金活用事例② ～段差の解消、手すり設置～

業種	卸売業
事業所労働者数	約30名(60歳以上4名)

厚生労働省



東京労働局

活用した補助金の概要

利用コース：総合対策コース
 対策内容：専門家によるリスクアセスメント（RA）を踏まえ、優先度の高い対策（転倒防止）
 補助金額：対象費用の4/5

補助金活用の経緯

業界団体から補助金の情報提供を受け、施設の老朽化対策等で制度活用を検討、専門家の意見を聞くため、総合対策コースを選択した。

R7.7

交付申請
(RA実施計画
や経費見積)

R7.8

交付決定

R7.9

専門家によるRAを実施
(結果書発行)

R7.9

交付申請
(RAに基づく災害
防止対策)

R7.10

交付決定

R7.11

業者に工事を
発注

R7.11

工事施工
完了

R8.1

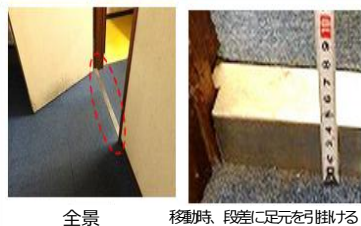
補助金確定・振込

補助金を活用した対策の内容

専門家によるRAの実施

予想される労働災害の発生リスク

2階男子トイレ
入口に約5cm
の段差があり、
段差に足を引
掛けて転倒し
捻挫する



労働災害防止対策

段差部分に緩やかな
勾配を付けて、足元
が引掛からないよう
にする。



【専門家によるRA】

リスクレベルが高く、本質的対策による効果が高いため、優先してリスク低減を図ることができると考えられる。

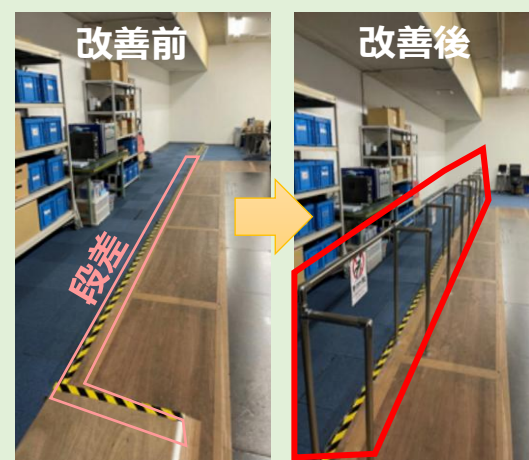


改善事例①



スロープ化

改善事例②



手すり設置

労働者からの声

- ・段差を踏み外して転びそうになったことがあったが、段差がなくなりほっとしている
- ・手すりがあることで足を踏み外す心配がなくなった

対策を行ってみたいの効果

通行が多い箇所の改善がされたことで、安心感が高まった。
 専門家を活用することで、危険度が高く、対策の効果の高いリスクに対して対策を取れた。

補助金を活用した感想・意見

総合対策コースを活用し、専門的知見を有するコンサルタントのRA評価は優先事項の選定において意義深い。
 補助率が高く、申請も煩雑でなく、活用しやすい。

エイジフレンドリー補助金を積極的に活用し、働く高年齢者の対策を進めてください！